

黒潮町消防団夏季訓練

6月25日(日)、旧伊田小学校体育館で黒潮町消防団夏季訓練を行いました。

今年は、全体で礼式訓練を行ったのち、普通救命講習と情報伝達(図上)訓練、火災対応の講義を実施しました。

礼式訓練では、黒潮消防署員の指導のもと、消防団員が真剣な趣で取り組みました。特に新入団員には、黒潮消防署員が入念に礼式の基本動作を指導し、団員の心も引き締められました。

情報伝達(図上)訓練では、大規模災害時には携帯電話などの通信手段が途絶または混乱することから、消防団に配備している情報ツール(無線など)を活用し、避難場所間を結ぶ構築図の作成を実施しました。

火災対応の講義では、黒潮消防署員に講師となっていたいただき、消防ポンプの性能や、消防水利の種類(無圧水利・有圧水利)、放水圧力設定などのポンプ操作の基本的な考え方について学習し、消防力の強化を図ることができました。



防災倉庫に関するお知らせ

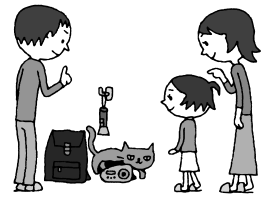
南海トラフ地震への備えとして、主たる緊急避難場所(防災倉庫)の整備を進めています。整備が完了した防災倉庫は、各地区の自主防災会と使用に関する覚書を交したあと、地区でご利用いただくことが可能となります。

なお、防災倉庫には一次的な避難で必要になる資機材(簡易トイレ、アルミ保温シート、ブルーシート、トラロープなど)を役場が配備しますが、残るスペースはそれぞれの地区で必要となる備蓄物資を保管していただけます。発災時に備えて地区での備蓄を進めていきましょう。



～ 9月3日（日）は黒潮町総合防災訓練です ～

今年度も南海トラフ地震を想定した黒潮町総合防災訓練を実施します。町全体の防災訓練は年に1回です。ぜひこの機会に参加しましょう。
訓練参加者には、黒潮町のバリエーション豊かな缶詰をお配りします。



【訓練の内容】

訓練日時：平成29年9月3日（日）午前8時00分～

大雨、洪水などの気象警報発表時や災害が予想される時は中止します（中止の場合は、午前7時00分にFM告知放送にて周知します。）

午前8時00分頃

サイレンおよび緊急放送を行いますので、お住まいの避難場所に避難して下さい。

※部落放送、FM告知端末機、佐賀地域は防災行政無線から地震音を流します。避難終了後は、各地区で計画された避難訓練を実施します。



【役場からのお願い】

南海トラフ地震などの大規模災害時には、生き埋めや倒壊家屋で閉じ込められた人のうち生存して救出された方の約95%は自力または家族や隣人などに助けられました（自助・共助）。

町内の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されるため、**地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。**

1. 地域の防災活動への参加

発災時は、住民のみなさん各自の避難に対する備えと、救助協力が必要です。

◆避難訓練に参加しましょう

年に1度の避難訓練に参加しましょう。地域での助け合いの気持ちを忘れずにできることから始めましょう。

2. 家族での話しあい

◆家族の情報をあらかじめ整理しておくことは、地震の揺れや津波の被害を受けたあとに役立ちます。生年月日、血液型、連絡先、常備薬、アレルギーなどの情報をあらかじめ整理しておきましょう。

◆発災時の連絡方法や津波避難場所、避難所をあらかじめ決めておきましょう。

地震はいつ起こるか分かりません。家族バラバラに避難しても全員が助かるために家族の防災ルールを確認しておきましょう。

津波避難場所は、地震のあとすぐに逃げる場所、避難所は避難生活をおくる場所です。